

Shippo - Japanese Cloisonné - Now

七宝の現在

— 東日本の作家を中心に —

2017年 9.9 [土] - 10.22 [日] 月曜休館(祝日の場合翌日)・入場無料
10:00-18:00 (入館は17:30まで)

七宝は、金属の素地(金・銀・銅等)に、ガラス質の釉薬を高温で焼きつけることによってつくられる伝統工芸技法の一つです。その語源は、古来、その美しさが、仏教の経典における金・銀・瑠璃(るり)・瑪瑙(めのう)などの七種の宝に匹敵することからつけられたと伝えられています。

これまでも伝統に裏打ちされた美しさと極められた技巧の粋で、七宝は人々を魅了してきましたが、近年さらに再評価の機運が高まっています。

本展では、東日本を拠点に第一線で活躍する七宝作家9名による作品構成で、現在の七宝のさらなる革新的創造に挑んだ多様な表現をご紹介します。作家の卓越した技と、緻密な作業を重ねて生まれる華麗で美しい七宝作品の数々をご堪能ください。



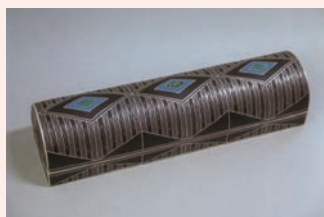
石坂久美子
有線七宝蓋物「細葉ひいらぎ南天」



梅澤美子
角針七宝香炉「香華」(部分)



太田せつ子
有線七宝蓋物



勝文彦
鍍付有線七宝短冊箱



久保かよ子
有線七宝蓋物「秋津」



嶋田澄子
有線七宝蓋物「芙蓉」



高橋通子
金彩有線七宝蓋物「雅」



吉村美子
南鍍有線七宝袖香炉「麗容」



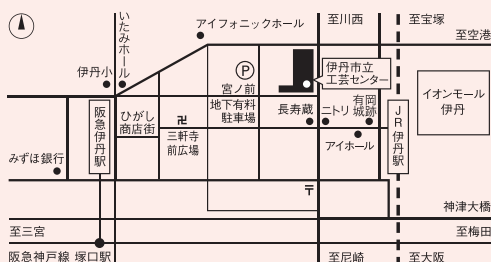
わた迎きょうこ
泥七宝吹屋弁柄黒椿文蓋物

【講演会】

「七宝の歴史と魅力」外館和子(工芸評論家)
9月16日[土] 14:00- 無料

【同時開催の展覧会】

並河靖之 七宝展 — 明治七宝の誘惑・透明な黒の感性—
会場: 伊丹市立美術館(工芸センター隣接) 入館料: 一般 700円



伊丹市立工芸センター

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-28
TEL: 072-772-5557 / FAX: 072-772-5558
http://mac-itami.com

阪急 | 伊丹線伊丹駅下車 北東へ徒歩約9分
JR | 宝塚線伊丹駅下車 北西へ徒歩約6分
阪急バス | 伊丹中央停留所下車 北へ徒歩約3分
※駐車場はございませんので、
宮ノ前地下駐車場[有料]をご利用ください。